

郷土博物館で千葉開府900年記念・令和8年度特別展
「千葉まちアンソロジー—千葉氏がつくったまちの900年—」を開催します

郷土博物館では、千葉開府900年記念・令和8年度特別展「千葉まちアンソロジー—千葉氏がつくったまちの900年—」を開催しますので、お知らせします。

なお、開催に際し、10月10日（土）に報道機関向け披露説明会を実施しますので、併せてお知らせします。

1 展示名称

千葉開府900年記念・令和8年度特別展

千葉まちアンソロジー—千葉氏がつくったまちの900年—

2 概要

「千葉開府900年」という大きな節目を迎える令和8（2026）年は、千葉市の歴史を見つめ直し、その未来を考えるまたとない機会です。

千葉のまち（本市中心市街地周辺）は、平安時代末期に千葉氏が本拠を構えたことを契機に発展してきました。本展では「千葉氏によってつくられた千葉まち900年のあゆみ」をテーマに、古代から中世、近世、近現代までの各時代の資料を通してその歴史をたどります。

900年という長い歴史は、決して一つの時代だけでつくられたものではありません。千葉氏をはじめ、時代ごとにこのまちに生き、このまちを支えてきた人々の営みが積み重なって、現在の千葉があります。本展が、千葉のまちの歩みを知り、郷土への愛着を深めるとともに、まちの未来を考える機会を提供します。

3 期間

令和8年10月10日（土）～12月6日（日）

9：00～17：00（入館16：30まで）

※休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日が休館）

4 会場

千葉市立郷土博物館 1階企画展示室（中央区亥鼻1-6-1）

5 観覧料

無料

6 展示資料

(1) 資料点数

約90点

(2) 主な展示資料

- ・院内遺跡の出土遺物（平安期の須恵器、中世瓦、中世陶磁器、近世陶磁器等）
- ・猪鼻城跡出土古代円面硯
- ・木造十王坐像より閻魔王
- ・葛飾北斎「富嶽三十六景 登戸浦」
- ・大舟の飾り幕
- ・成田名所図会
- ・際物問屋伊勢源本展印半纏
- ・動画「二代目千葉県庁舎模型」
- ・原民喜「千葉海岸の詩」自筆原稿

7 見どころ

- (1) 千葉氏の下で都市として発展をはじめた「千葉まちの900年にわたる歴史」を概観することができます。
- (2) 昨年実施された院内遺跡発掘調査で発見されたさまざまな時代の出土遺物をはじめとした、千葉まちの発展を示す多様な資料をご覧いただけます。

8 報道機関向け披露説明会

(1) 日時

10月10日（土）10：00～12：00の間

(2) 参加申込

郷土博物館（電話222－8231）へ10月9日（金）17：00までにご連絡ください。

展示資料 ※画像を利用される場合は郷土博物館までご連絡ください。



院内遺跡出土中世瓦
(本市埋蔵文化財調査センター蔵)



猪鼻城跡出土古代円面硯
(本市埋蔵文化財調査センター蔵)



木造十王坐像より閻魔王(高德寺蔵)



葛飾北斎富嶽三十六景 登戸浦(当館蔵)



大舟の飾り幕 寒川神社蔵(当館寄託)



際物問屋 伊勢源印半纏(当館蔵)